

【女性編】

アパレルで働いている女性のホルダーさんから聞いた情報です。

OKイメージ・・・スーツを持っていないともジャケットスタイルが基本

全体をモノトーンでまとめるのが無難。

服装について(女性編)

OK



NGイメージ・・・いくらジャケットを着ていても華やかすぎるのはダメ

クライアントが自分の相談に集中できなくなるから。

どうしてもインナーや合わせるスカートに柄物をもっていきたい場合でもモノ

トーンの方がよい。

服装について(女性編)

NG



アクセサリーも華美なものは同じ理由で控えた方がよい。

CDAの先生も大きな石のついているようなアクセサリーはカウンセリングの際は控える。この基本は守りつつ、自分は人からどう見えているのかということ意識して、プラスアルファで工夫するのもよい。

幼く見えたり明るく元気に見える場合は、落ち着いた印象を与える為にボトムはスカートではなくパンツにする。

冷たく見られる、固く見られる人は、薄いピンクのインナーをもってくる、これだけで同じ表情でも柔らかく見えて全然違う。

また若い方は、面接官になめられないようにメイクをいつもと変えて大人っぽいものにしていくのも有効である。

【男性編】

基本はスーツ系。襟付きのシャツが望ましい。ジャケットは着なくとも念のため持っていった方がよい。

ネクタイ・メガネ：硬い・真面目に見える方はしない、それ以外の方は、あえてすることで全体的に引き締めた印象を与えるのも有効。

イメージとしては「大事な顧客先へ訪問するビジネスマン」というのが近い。

以上